

## ★ お薦めBooks! ★

◆ 『90歳まで働く!』 郡山 史郎 著  
ワックBUNKO (新書ワイド版) 本体 920円

著者は出井 伸之とソニーの社長レースを争ったこともある。NHKの「プロジェクトX」にも登場した元ソニー役員である。

彼は80歳(傘寿)を超えてもシーフォーム社の社長を務めている。

シルバー世代のための「就活・終活・仕事」論を述べている。

この本は、人生の後半戦にチャレンジしていくことになる後輩たちへのエールのつもりで書かれているが、前半戦を戦っている人たちにも読んでもらいたいと著者は述べている。

定年後やってはいけない十戒として

- (1) 学校に行く
- (2) 資格を取る
- (3) 語学の勉強をする
- (4) ジムに行く
- (5) 葬式に行く
- (6) 本を書く
- (7) 勲章を貰う
- (8) NPOに参加する
- (9) 会社を創る
- (10) 勝負事をする

では、定年後にやるべきことは・・・、人生の後半戦に入ったシルバー世代のやるべきことは本書をじっくり読んでほしい、と著者は述べている。

20代、30代よ、人生後半戦は楽しいよ! 40代、50代よ、定年なんか怖くないよ!

60代、70代よ、君たちはまだ若いよ! ——と言いたい!

◆ 『超一流の雑談力 ~人間関係の悩みを解消してくれる38のスキル~』 安田 正 著 文響社刊 1380円(税別)

著者の安田 正氏は23歳にとき英国に留学したが、英語ができるのに「話が通じない」場面に何度も出くわした。氏は英語力とは違う能力「コミュニケーション力」を発見、開発したという。

現在は、企業研修以外にも、東大、京大、一橋大などの大学で教鞭をとっている。

同書の帯には、「一流の雑談は、人もお金も引き寄せろ!」とあり、世間からは一目置かれる人が実践している38のスキルが書かれているのだ。そこには、子どもに接する際のヒントもたくさん盛り込まれている。

子どもと接することの多い教師は、「自分は話すことが得意だ」と思い込んでいる人も多いと思うが、一方的な話し方に慣れている教師が、異業種の人や苦情・要求をねじ込んでくる人に対しては、一歩、二歩と引いてしまい、対応がうまくいかないケースが多いという。

多様な場数を踏んでいない教師には、大いに参考になる一冊である。

◆ 『世の中が見えてくる統計学』 川又 俊則 著 幻冬舎エデュケーション新書 780円(税別)

統計学というと、難しそうな数式を駆使して様々な事象を解析する学問というイメージが強いが、本書は数式を一切使用せずに、身近な数値のカラクリを易しく解説した統計学の入門書の内容になっている。

今の世の中、数多く発行されている[ポイントカード]では消費者にとってはおいしいポイントが付与され、様々なメリットが発生する仕組みに人気がある。一方、ポイントを貯めるために予定外の物品まで購入してしまい損をさせられるというデメリットが数多く存在する。30% offにつ

いつい購入してしまった。保育所入所希望者がいるのに、「待機児童ゼロ」と発表するカラクリ。色々な事象をランキングすることの落とし穴。データ改ざんして、事を有利に進めるなど。

本書は「統計数字に騙されないためには、データや図の製作者の意図を鋭く読み解くクセを付けることだ」と社会学者の筆者は断言している。「災害からの学びと復興・防災教育など5章からなり、情報や数値を鵜呑みにしている限り、社会は表面しか見えてこない。一步引いたモノの見方を身に付ける「社会学的発想」のススメとも受け取れる一冊である。(2015/05/11)

◆ 『未来を拓く学校の力』 全国連合退職校長会 編著 (株)東洋館出版社 刊 2400円 (税別)

全国連合退職校長会(全連退)は設立50周年を記念して、全国各地の特色ある学校の教育活動、地域の歴史や震災から学ぶ防災などをまとめた内容になっている。

全連退は全国都道府県にある退職校長会の連合体で、国の教育振興や研究支援、関連する出版事業を行っている。

本書は「郷土の偉人・歴史・文化に学ぶ」「地域の特色を生かした教育活動」「災害からの学びと復興・防災教育など5章からなり、退職校長会推薦の全国小中学校、高校の優れた約50事例を写真付きで紹介されており、現場で役立つ1冊である。(2015/03/20)

◆ 『アルツハイマーは脳の糖尿病だった』 森下竜一・桐山秀樹 著 青春出版社 刊 840円

糖尿病患者やその予備軍は、アルツハイマー病になるリスクが高い。

食べ過ぎや運動不足、生活習慣の乱れなど、原因には共通部分がある。肥満、高血糖がアルツハイマー病発症のリスクを高めると筆者は断言する。

本書の中で、予防策として「糖質制限食」を勧めている。

抗加齢医学専門の森下竜一 大阪大学医学部教授は、「ムリなく実践できる方法」を正しい知識とともに伝授している。

またノンフィクション作家の桐山秀樹氏は、自らの糖尿病になって取り入れた経験を語っている。

30歳、40歳、50歳、60歳代の各年代別に、気をつけるべき食生活のポイントが示されており、実生活に役立つ1冊である。

◆ 『福井県の学力・体力がトップクラスの秘密』 志水宏吉・前馬優策 編著 中公新書ラクレ 780円

平成26年春に実施された小中学生対象の全国学力調査や体力テストでトップクラスの成績を収める福井県。

大阪大学大学院の研究者らが福井県の教育現場に密着して、その秘密を探った記録である。

その中で、記述されている、伝統的なコミュニティの教育力や3世代同居家庭による育児支援、そして真面目な教師たちの熱心さが印象的である。(2014/12/13)